



大雪 (7日) … いよいよかえでが色付き始めました …

裏庭の柿は、収穫してみると立派な柿がなんと約130個もなっていました。とても甘くておいしい柿でした。自然からの恵みに感謝です。築山の小さなイチヨウが黄色く色付き、大雪になった頃から、かえでの葉もいよいよ赤みを帯びてきました。

<鰻魚群 さけのうお むらがる 12月16日~20日>

大雪の末候は「鰻魚群」です。川で生まれて海で育った鮭は、この時期に産卵のために自分が生まれた川へ帰ってきます。生き物の本能とは言え、何とも不思議な営みです。

<自分事として楽しみながら進めるために>

11月末の赤坂ベルクワイアの皆さんによるハンドベルコンサートは、子どもたちにとって大きな感動であり、刺激となる体験でした。先生たちは、その感動や憧れの気持ちをその後の活動につなげるために、少し前から新しい歌を教えたり、新しい楽器を出したりして種まきをしてきていました。遊びや生活の中に音楽的な要素が少しずつ増え、遊戯室にひな壇を置いて、そこで歌ったり楽器で遊んだり、その様子をお互に見合う機会も自然と出てきていました。

<ぼくたち私たちの歌、すごいでしょ>

年長児は、長い歌をうまく歌えることで自信をつけていました。合奏では新しい楽器をどの子も試しながら、曲のどの部分でどの楽器を鳴らすといい感じになるかを繰り返し研究していました。年中児は、新しい楽器をいろいろと試しては、楽器の音が揃うことの気持ちよさを感じ始めていました。年少児はドングリマラカスや牛乳パックカスタネットなどを作って遊ぶ経験を繰り返し楽しんでいました。

<音楽会をしたいんだけど・・・>

そんな音楽三昧の日々が続いたある日、年長児から「園長先生、私たち音楽会をしたいんだけど…」と相談がありました。「すてきな歌や合奏はお家の人にも見てもらいたいよね」と共感し、カレンダーを見て「17日ならできるかも」と答えると、大喜びですぐに年中や年少組にも報告し、一緒にやろうよと誘い掛けていました。

私たちは、歌や楽器遊びを楽しみ、それを自分事として音楽会につながっていくように、丁寧にタイミングを図っていたのです。プログラムは魔法を使って10分で作りましたが、何とか間に合いました。



この楽器、去年の年長さんが使ってたね



みんなで一緒にやってみようか



太鼓はこのタイミングで打とうよ



17日に音楽会を一緒にやらない？



カスタネット、スズ、タンブリン
どの楽器も楽しい



打ち方を決めながら
楽器や役割を交代して何度も



年少児の楽器遊びを他の学年が応援!